

講義科目名称： 日本語Ⅱ(H)

授業コード： 51101000 51101010

英文科目名称： Japanese II

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	2	選択
担当教員			
渡口 行雄			
月2、3			
添付ファイル			

科目の概要	日本語Ⅰの内容をさらに深めて、日本語文章の正確な書き方を学ぶ。社会人として日常で必要とされる基本的な文章や手紙などの書き方を実践的に行う。また、現代表記や当て字、慣用句などもマスターする。常用漢字を確実に覚えるよう、漢字ドリルに集中的に取り組む。
授業の内容	<p>第1回 子供の名前を分析してみよう 漢字ドリル</p> <p>第2回 キラキラネームについて考えよう 漢字ドリル</p> <p>第3回 ミニ作文（自分の名前について） 漢字ドリル</p> <p>第4回 文章の基本的な書き方について 漢字ドリル</p> <p>第5回 年齢の異称と賀寿について 漢字ドリル</p> <p>第6回 漢字抜け熟語について 漢字ドリル</p> <p>第7回 間違い漢字探し 漢字ドリル</p> <p>第8回 小テスト 三字熟語</p> <p>第9回 特殊な読みの漢字について 漢字ドリル</p> <p>第10回 差別語と重複表現 漢字ドリル</p> <p>第11回 自分にとって「今年の漢字」</p> <p>第12回 間違いの多い表現</p> <p>第13回 年賀状を書いてみよう</p> <p>第14回 漢字シークワーズ</p> <p>第15回 小テスト</p>
学習到達目標	将来、社会に出てから必要とされる各種の文書を、正しく、わかりやすく書けるよう、基本的な表現力と漢字力を身に着ける。自分の考え方を的確に文章で表現できることを目指す。
授業の方法	講義形式。必要に応じて、適宜、グループワークを行う。
成績評価の方法	平常点（40%）、小テスト（40%）、提出物など（20%）
教科書・テキスト	日本語Ⅰで使った「漢字検定完成問題」を引き続き使用する。配布のプリントはすべてファイルすること。
参考書	必要に応じて、随時、紹介する。
授業時間外の学修について（事前・事後学習について）	新聞を読んで、社会に向ける目を養うこと。
履修上の留意事項	電子辞書、または国語辞典を持参すること。
オフィスアワー	授業終了後に、控室で相談に応じる。
実務経験	新聞記者として、永年、文章を執筆してきた。その経験の一端を伝えたい。
その他	特になし。